

議案第104号

工事請負契約（宝塚市新ごみ処理施設等整備・運営事業 整備工事）の締結について

資料4 DBO方式と公設公営の事業費比較について

新ごみ処理施設等整備・運営事業をDBO方式に実施するにあたり、PFI事業に準拠してVFMを算出しています。

※VFM (Value For Money) は、PFI事業において最も重要な概念の一つで、支払い(Money)に対して最も価値の高いサービス(Value)を供給するという考え方で、従来の方式と比較してPFIの方が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合です。

VFMの算出に際しては、従来方式（公設公営）で実施する場合とDBO方式で実施する場合の財政負担見込み額の算定に当たり前提条件を設定し計算します。（前提条件は、市ホームページの“クリーンセンターのページ”の『新しいごみ処理施設の整備に向けて』、『宝塚市新ごみ処理施設等整備・運営事業 特定事業の選定』を参照ください。）

昨年7月30日に公表した「特定事業の選定」において算出したVFMは3.65%でした。

今回提案しています事業者の落札額に基づきVFMを算出したところ、14.33%となり、現在価値差額としては約53億円程度となりました。